

2 トピック – トマトの需給動向について –

今回と次回の2回に渡り、トマトについて紹介する。

○トマトについて

原産地は、南米のペルーやエクアドルなどアンデス山脈の高  
原地域で、世界で発見されている9種類の野生のトマトのう  
ち、8種類がこの地域を原産地としている。ペルーはアンデス  
山脈が国を貫く山岳乾燥地帯で雨量が少ない地域であるから、  
もともとトマトは雨を苦手とする。このため、高温多湿でも栽  
培ができるように品種改良や栽培の工夫が行われてきた。

トマトという名称は「膨らむ果実」を意味する「トマトウ  
ル」からきているといわれている。トマトウルとはもともと  
「ホオズキ」を意味し、形がよく似たトマトもこの名で呼ばれ  
たといわれている。

トマトが日本に伝わったのは17世紀の半ばで、四代将軍徳川  
家綱のお抱え絵師であった狩野探幽が1668年に「唐なすび」  
(トマト)を描いている。また、江戸時代前期の儒学者貝原益  
軒も大和本草(1709年)で、「唐ガキ」と紹介している。これら  
の他にも、唐柿(とうし)、赤茄子(あかなす)、蕃茄(ばん  
か)、小金瓜(こがねうり)とも呼ばれていた。

トマトは、世界で最も栽培されている野菜で、2012年のFAO統  
計では全世界で1億6179万トンが生産され、中国が5000万ト  
ンで1位となっている。国内では冬春トマトが熊本県、愛知県、  
栃木県、夏秋トマトは、北海道、茨城県、熊本県が主たる産地  
となっており、熊本県と北海道はトマト類の一大産地となっ  
ている。総務省・家計消費状況調査(二人以上の世帯)によれ  
ば、平成28年の1世帯当たり年間購入量は約2.7キログラムと17  
年の1.4倍程度に増加している。

○消費者が好きな野菜「トマト」

種苗会社が毎年8月31日の「野菜の日」に公表している「野  
菜と家庭菜園に関する調査」によると、平成28年の好きな野菜  
の第1位がトマト、第2位がばれいしょ、第3位がメロンと  
なっている。過去8カ年を見ると、トマトは8年連続で第1位  
となっており、消費者から高く支持されていることがうかがえ  
る。

○トマトを最も好きな野菜として選んだ理由

同調査で「トマトを最も好きな野菜として選んだ理由」を平  
成28年と24年で比較すると、「健康にいいから」が第3位から  
第1位に、「栄養があると思うから」が第4位から第3位へ順  
位を上げており、健康志向の面で支持されていることがうかが  
える。また、食材としての食べやすさも評価が高く、簡便志向  
の面でも支持されていることがうかがえる。

今回は、トマトを取り巻く状況やブランドについて、事例を  
まじえて紹介する。

図1 トマトの1人当たり年間支出金額及び  
購入量の推移(2世帯以上)

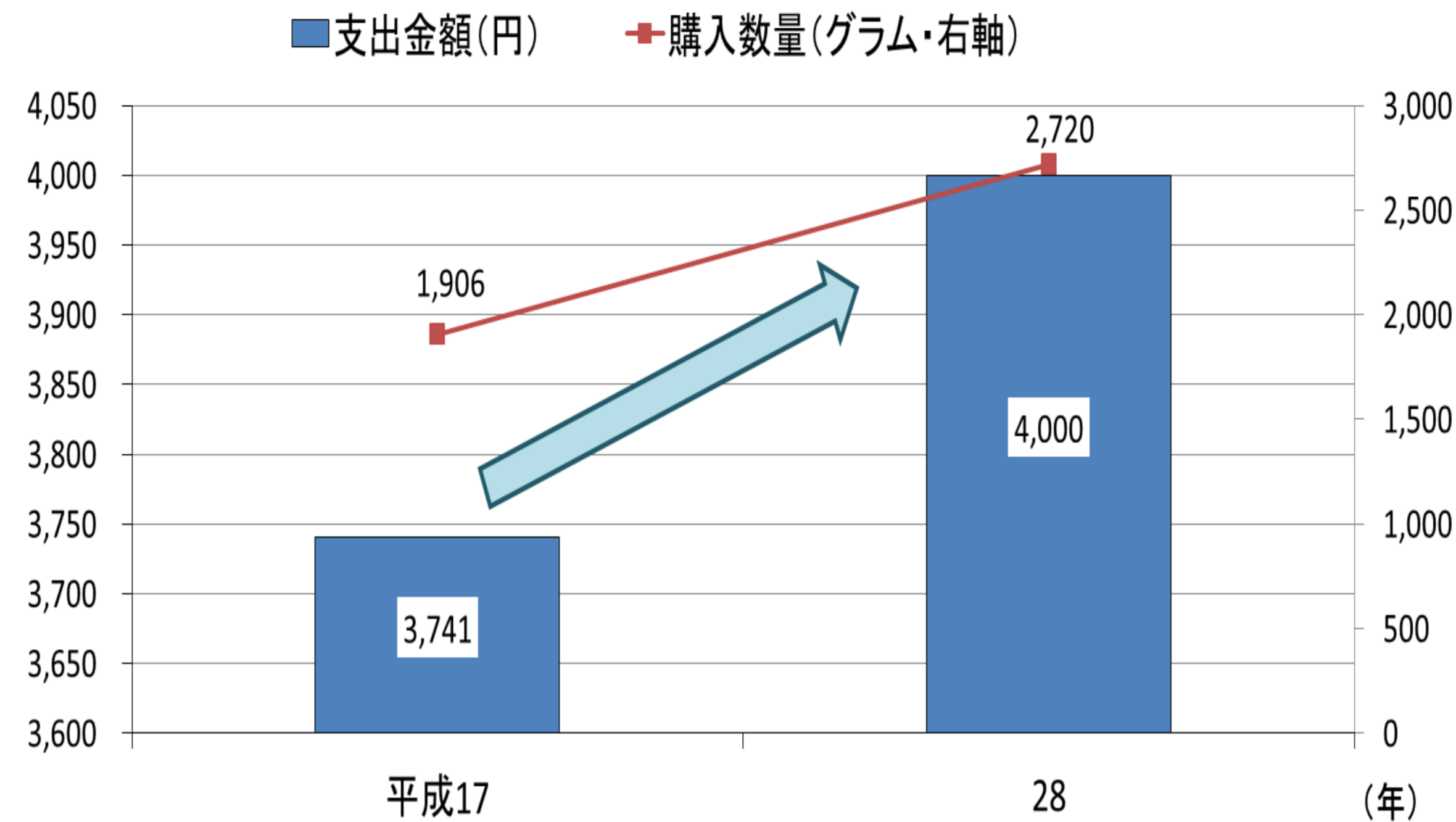
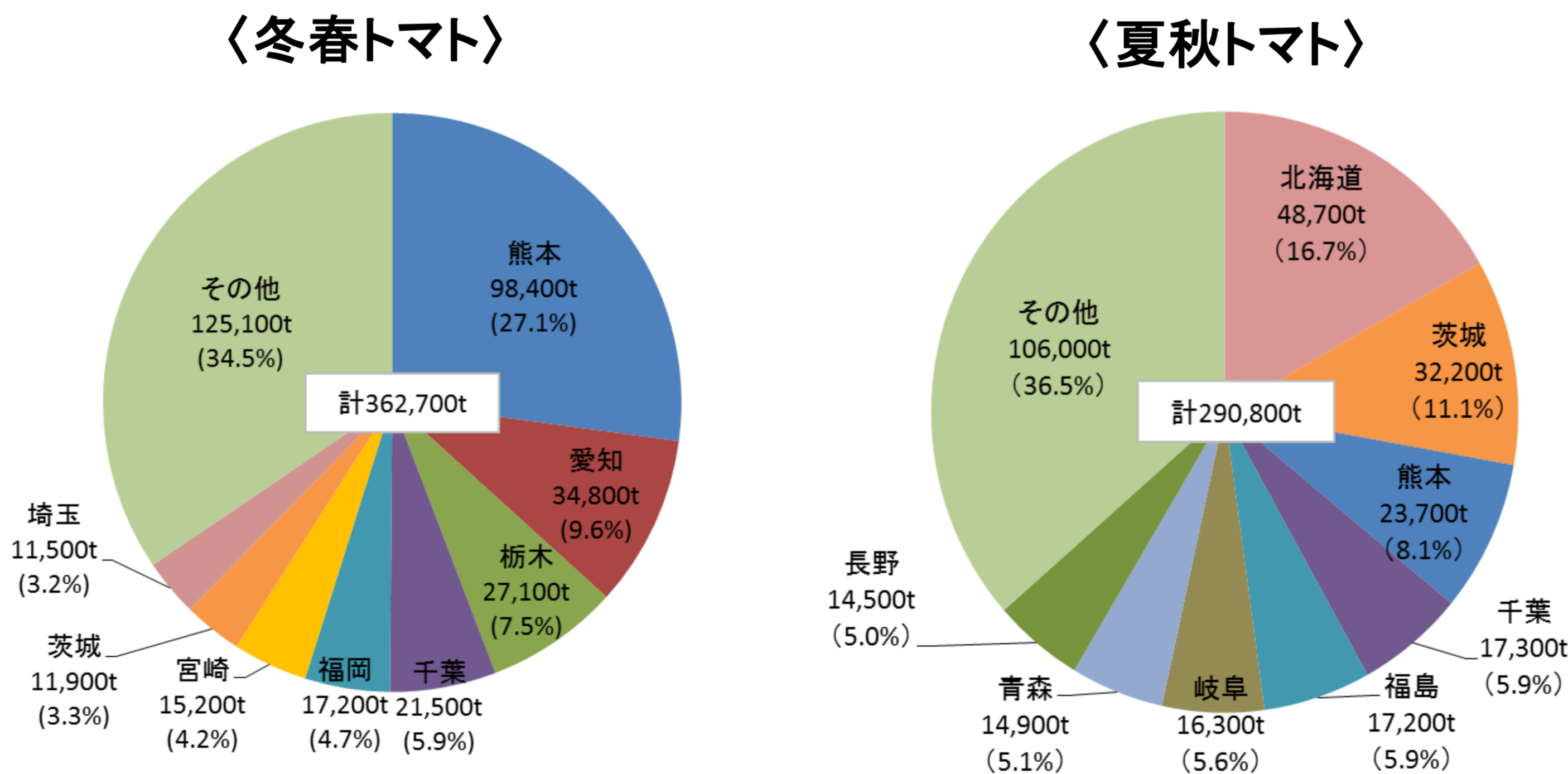


図3 消費者が好きな野菜の順位及び  
消費者が好きな野菜を選んだ理由

順位	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
1	トマト	トマト	トマト	トマト	トマト	トマト	トマト	トマト
2	メロン	メロン	ばれいしょ	ばれいしょ	ばれいしょ	ばれいしょ	ばれいしょ	ばれいしょ
3	ばれいしょ	すいか	メロン	すいか	メロン	たまねぎ	たまねぎ	メロン
4	たまねぎ	ばれいしょ	すいか	スイートコーン	すいか	すいか	キャベツ	スイートコーン
5	すいか	たまねぎ	たまねぎ	キャベツ	たまねぎ	メロン	えだまめ	すいか

順位	理由	平成24年	平成28年
1	おいしいから		健康に良いと思うから
2	食材としてたべやすいから		おいしいから
3	健康に良いと思うから		栄養があると思うから
4	栄養があると思うから		食材としてたべやすいから
5	食材として料理しやすい・手間がかからないから		自分の好きな料理には欠かせないから

図2 トマトの産地別出荷量(平成27年)



資料：農畜産業振興機構「ベジ探」(原資料：図1 総務省統計局「家計調査結果表(農林漁家世帯を除く)」、図2 農林水産省「野菜生産出荷統計」、  
図3 タキイ種苗株式会社「野菜と家庭菜園に関する調査(2009-2016)」より、機構作成。調査方法：インターネット、調査対象：20歳以上の男女、N600

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 戸田、松岡、植村 TEL03-3583-9448、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方は当機構のホームページのトップ画面、メールマガジンから登録してください。

★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、[http://vegetan.alic.go.jp/vegetable\\_report.html](http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.html) に掲載しています。

※無断転載禁ず ・レポートに記載された情報をご利用になったことにより生じたいかなる損害に関して、当機構は一切の責任を負いません。